

SOSの出し方教育についての実践

1. 題材 「自分を大切にしよう」

2. 指導のねらい

- ・自他のよさに気付くとともに、自分を見つめ直し、自己を肯定的に捉えることができる。
- ・自分がかげがえのない大切な存在であることに気付き、不安や悩みがある時には周囲へ相談するなどの対処ができる。

3. 本時の展開

	学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 上 の 留 意 点 等
導入 (5分)	1 錯視を提示し、さまざまな物の見方や見え方があることに気付く。 ・ルビンの壺・・・壺と人の横顔 ・カエルの口・・・長さが異なって見える	○物の見方や見え方は人によって異なることをおさえる。 ○人に対する見方や見え方も人によって異なる。
展開 (25分)	2 グループでワークシート「いいとこ四面鏡」に取り組み、仲間のよいところを見つける。 ① 自分の名前を書く。 ② ワークシートを時計回りに渡す。 ③ 丸をつける人は、自分の名前を記入してから丸をつける。 ④ あてはまると思う項目に5つだけ丸をつける。 ⑤ 一斉に次の人へワークシートを回す。 ⑥ 班の全員に記入してもらったら、ワークシートを本人へ戻す。 3 戻ってきた自分のワークシートを見て、感想を記入する。(感想発表) ・自分のいいところを知ることができた。 ・仲間のいいところを見つけることができた。 ・自分が知らなかった自分のいいところに気付くことができた。	○ワークシートの取り組む際の注意点を確認する。 <丸を付けるポイント> ・その子にあてはまる「いいところ」に丸を付ける。 ・1人につき必ず丸を5つ付ける。 ※丸の数が偏らないようにする。 ・ワークシートを次の人に回すタイミングを揃える。早く記入できた人は待っている。 ○自分のことを知ったり、自分や仲間のいいところに気付いたりするきっかけにする。 ○丸が付かなかった項目に対してネガティブに捉えないように配慮する。
終末 (15分)	4 スクールカウンセラーの話を聞く。 5 担任の話を聞く。 6 本時を振り返り、感想を発表する。	○うまくいかない時や落ちこんでいる時はネガティブに考えがちだが、自分の良い所はたくさんあること、他の人も良い所を見てくれていることを忘れないでほしい。 ○自分の経験をもとに、SOSを出すことの大切さを伝える。 ○家族(一人)にもいいこと四面鏡に丸を付けてもらい、学校へ提出する。